

基本事業11403 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:健康増進課)

主な取組内容

1. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。
2. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策促進事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ地域特別対策事業

① AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成26年9月20日 10:30～12:00	桑名シティホテル 5階宴会場	保健所職員 2名	啓発ティッシュ・啓発物品等150個配布とAIDS予防・HIV検査啓発パネル展示、パンフレットの配布

② AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成26年11月16日 9:30～14:30	菟野町保健福祉 センター けやきホール	保健所職員 1名	啓発ティッシュ・啓発物品等130個配布とAIDS予防・HIV検査啓発パネル展示

③ 「感染症予防」研修会における啓発

実施年月日	対象者	参加人数	実施内容
平成26年11月19日 12:45～13:05	北勢病院職員	63名	院内感染症予防対策研修会の一環で世界エイズデーと保健所におけるHIV検査に関する説明を実施、啓発ティッシュの配布

④ 「世界エイズデー」街頭キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成26年12月1日 7:40～8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 3名	啓発ティッシュ800個配布

⑤ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成26年7月24日 13:15～15:45 桑名市中央公民館 大研修室	学校関係者 保健医療関係者等	43名	講演 「性感染症と子供達」 講師 HIVと人権・情報センター 尾澤 るみ子氏 徳永 桂子氏

(2) エイズ相談・検査実施日時（平成26年度）

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

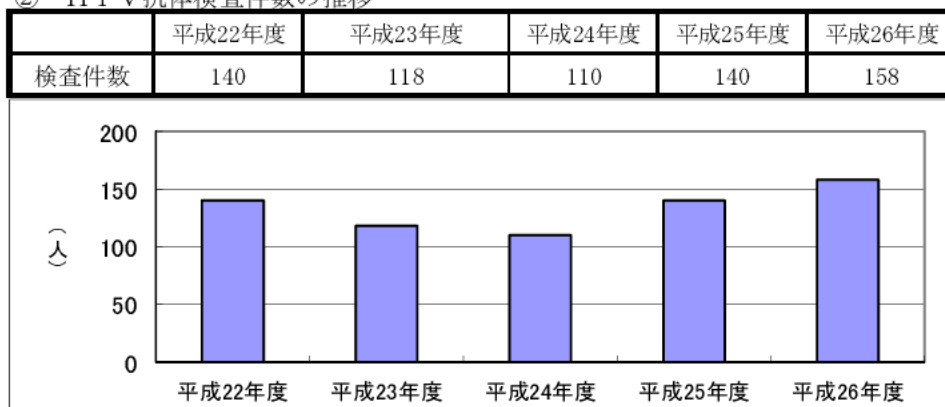
① HIV抗体検査、電話・面接相談者数

	男	女	計
電話・面接による相談件数	6	4	10
HIV抗体検査件数	112	46	158

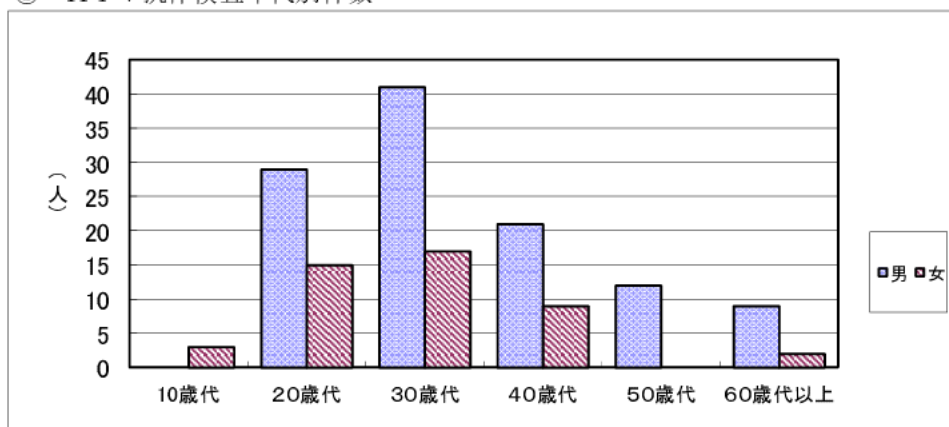


(レッドリボン)

② HIV抗体検査件数の推移



③ HIV抗体検査年代別件数



(3) 特定感染症検査件数（平成26年度）

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づき、梅毒、B型・C型肝炎検査を希望の方に対し、相談や検査を実施した。

	男	女	計
梅毒	103	46	149
B型肝炎	125	65	190
C型肝炎	124	64	188

(4) 感染症に関する予防啓発

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成26年11月5日 17:30~19:00 石榑保育園	保育士	54名	「子供の感染症と予防」 桑名保健所 健康増進課
平成26年11月6日 17:30~19:00 山郷保育所	保育士	47名	「子供の感染症と予防」 桑名保健所 健康増進課
平成26年11月28日 14:00~15:30 北勢市民会館	いなべ市民生委員	75名	「感染症の発生状況と予防方法」 桑名保健所 健康増進課
平成26年11月19日 12:45~13:05 北勢病院	病院職員	63名	「冬に流行する感染症の対策について」 桑名保健所 健康増進課

(5) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

	男	女	計
B型肝炎	20	19	39
C型肝炎	20	19	39

2 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

3 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 新登録患者数（活動性分類、性別、年齢階級別）

平成26年1月1日～平成26年12月31日

病型別 年齢区分	計		活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症			
			肺結核活動性									肺外結核						
			喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性			菌陰性・その他			活動性						
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計	43	25	18	14	6	8	14	10	4	3	2	1	12	7	5	15	7	8
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	3	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	5	1	4
30～39	5	3	2	3	1	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	2	1	1
40～49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	2
50～59	2	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
60～69	4	3	1	-	-	-	1	1	-	1	1	-	2	1	1	-	-	-
70～	28	17	11	8	4	4	12	8	4	-	-	-	8	5	3	-	-	-

イ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成26年12月31日現在

病型別 区分	計		活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明
			肺結核活動性						
			計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性、その他			
計	87	29	14	13	2	7	49	2	
入院中	5	4	2	2	-	1	-	-	
外来治療中	31	25	12	11	2	6	-	-	
治療なし	51	-	-	-	-	-	49	2	
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成26年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性			活動性結核の有病率	
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				25年	26年
管内計	87	14	13	2	7	49	2	7.8	12.7
桑名市	56	5	10	2	4	34	1	7.8	14.9
いなべ市	11	4	2	-	-	5	-	11.0	13.3
木曽岬町	1	-	-	-	-	1	-	15.2	-
東員町	7	-	1	-	2	4	-	3.9	11.8
菰野町	8	3	-	-	1	3	1	5.0	9.9
朝日町	1	1	-	-	-	-	-	9.9	9.7
川越町	3	1	-	-	-	2	-	6.9	6.8

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	43	31	14	14	3	12	15.2	15
桑名市	25	18	6	10	2	7	17.7	6
いなべ市	8	7	3	3	1	1	17.7	4
木曽岬町	1	1	1	-	-	-	15.5	1
東員町	4	1	-	1	-	3	15.7	-
菰野町	3	2	2	-	-	1	7.4	3
朝日町	1	1	1	-	-	-	9.7	-
川越町	1	1	1	-	-	-	6.8	1

(2) 結核検診実施状況

平成26年度

対象別	項目	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	IGRA検査	結核患者発見者数	(別掲)潜在性結核感染症発見者数
		対象者数	ツ反応検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数				
定期	計	2,499	-	-	2,281	77,895	24,695	11	-	4	-
	事業者	-	-	-	-	9,216	9,097	2	-	-	-
	学校長	-	-	-	-	2,358	2,354	-	-	-	-
	施設の長	-	-	-	-	1,044	969	-	-	-	-
	市町長	2,499	-	-	2,281	65,277	12,275	9	-	4	-
定期外	計		8	-	-		263	1	79	2	5
	接触者		1	-	-		105	-	36	-	2
	患者家族		7(1)	-	-		106(16)	1(1)	43(19)	2	3(1)
	患者管理		-	-	-		52	-	-	-	-

()内の数字は医療機関委託分(再掲)

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成26年度

項目 市町別	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影				結核 患者 発見 数 (G)	(G)/(D) %
					受診人員			(D)/(A) %		
					間接撮影数	直接撮影数	計(D)			
計	65,277	2,499	2,281	91.3%	9,349	2,926	12,275	18.8%	4	0.03%
桑名市	35,584	1,216	1,168	96.1%	4,357	-	4,357	12.2%	2	0.05%
いなべ市	8,501	411	333	81.0%	2,910	754	3,664	43.1%	1	0.03%
木曾岬町	1,733	35	35	100.0%	120	106	226	13.0%	-	-
東員町	5,374	233	176	75.5%	-	2,066	2,066	38.4%	1	0.05%
菰野町	10,105	332	297	89.5%	1,613	-	1,613	16.0%	-	-
朝日町	1,964	99	99	100.0%	311	-	311	15.8%	-	-
川越町	2,016	173	173	100.0%	38	-	38	1.9%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成26年中

申請別	計	新規申請	継続申請	解除
申請件数	53(2)	20(2)	33	18
承認件数	53(2)	20(2)	33	18

※37条の2からの変更()を含む

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く) 平成26年中

区分	計	被用者保険		国保	後高	生保
		本人	家族			
申請件数	49(11)	15(3)	5(1)	7	21(7)	1
承認件数	49(11)	15(3)	5(1)	7	21(7)	1

※37条のからの変更()を含む

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成26年4月1日現在

氏名	役職名
北川 良子	桑名西医療センター 内科医長
笠井 寛司	笠井内科 院長
菅原 望	いなべ総合病院 内科医長
畑中 准子	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
大橋 真由美	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日(但し、5月、平成27年1月は、第2第4木曜日) 午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

結核治療における服薬確認療法(DOTS)に取り組むにあたり、支援を行う機関・支援者を広げていくことを目指す。また、服薬確認療法が必要な患者に対し、療養や服薬への不安を減らし、服薬を完遂できるよう支援する。

イ 事業内容

1) 結核患者服薬支援 (DOTS)

①医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市羽津医療センター】

日 時：定例実施 毎月第1月曜日 午後3時～

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 結核担当看護師、外来看護師、薬剤師等
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師

対象者：四日市羽津医療センターに結核にて入院中及び退院後の患者

参加回数	11回
検討人数	28名 (延)
外来患者	23名 (延)

②関係機関とのDOTSカンファレンス

第1回

日 時：平成27年1月28日 14:00～15:30

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 看護師、医師
町担当者、訪問看護ステーション看護師

生活保護課担当ワーカー、桑名保健所結核担当課 課長、担当保健師

第2回

日 時：平成27年2月5日 11:00～13:00

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 看護師

患者、患者家族

町保健師

生活保護課担当ワーカー、桑名保健所結核担当保健師

第3回

日 時：平成27年2月12日 17:00～19:30

場 所：菰野町庁舎

参加者：訪問看護師

町保健師・担当者

生活保護課担当ワーカー、桑名保健所結核担当保健師

第4回

日 時：平成27年3月24日 17:00～19:30

場 所：菰野町庁舎

参加者：訪問看護師

町保健師

桑名保健所結核担当保健師

③コホート検討会

【四日市羽津医療センター】

日 時：平成27年2月17日 10時30～12時00分

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター6名 (医師、看護師、薬剤師、検査技師、MSW、栄養士)
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師5名

対象者：四日市羽津医療センターに退院後の治療終了患者

③DOTS支援

	病院・家庭訪問	保健所内面接	電話	郵送
実人数	47	18	40	34
延人数	117	39	115	187

ウ 成果

今年度は、DOTS実施率・服薬完遂率向上を目標に、服薬支援に取り組んだ。初回面接を丁寧に行うことにより、その方にあったDOTS方法を検討しながら実施した。

特に服薬継続が難しいケースに関して町、訪問看護、生活保護といった多岐にわたる関係者と患者の服薬完遂に向けて情報共有をしながらそれぞれの立場での見守体制をとるよう努めた。これらにより、結核や治療完遂の必要性等の、啓発や支援体制の構築につながった。

今後も事例を通して、また、さまざまな機会を活用し説明することで、結核対策やDOTSの理解を深め、支援者を広げていく必要がある。

また、DOTSカンファレンスの開催により、医療機関等と保健所の連携強化を図るとともに、早期面接および対象者に合った形でのDOTS方法を検討し、実施していくことに繋がった。

エ 今後の課題と平成27年度の計画

- 1) 医療機関と地域との連携のもと、DOTSを推進し服薬支援体制を整備する。
- 2) 高齢者の罹患率が高いことから、在宅の方は同居の家族やケアマネージャーに、また老人施設入所者においては施設担当者にDOTS支援をしていただく等しており、平成27年度も引き続き患者一人ひとりに応じたDOTS支援を実施する。また、高齢者施設等のサービス提供者に、希望があれば結核DOTSの必要性について啓発し支援者を増やしていく。
- 3) 患者を中心とした関係機関と連携を図りながらDOTSを進めていく。